

平成二十三年十一月二十五日提出
質問第七三三号

平成二十三年度北方領土返還要求行進に対する野田佳彦内閣の関与等に関する質問主意書

提出者 浅野 貴博

平成二十三年度北方領土返還要求行進に対する野田佳彦内閣の関与等に関する質問主意書

北海道根室市、根室管内の別海町、中標津町、標津町、羅臼町で構成される北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（以下、「協議会」という。）の主催で、北方領土返還要求をアピールする北方領土返還要求行進（以下、「行進」という。）が、本年も例年通り十二月一日に行われると承知する。右を踏まえ、以下質問する。

一 その意義、我が国の国益へ与える影響等、「行進」に対する野田佳彦内閣総理大臣の見解を示された
い。

二 本年度の「行進」につき、政府は「協議会」から何らかの形で連絡を受け、開催されることを承知しているか。

三 現時点で、野田総理として誰を「行進」に参加させる考えでいるのか、その官職氏名を全て挙げられた
い。

四 現在の日ロ関係、特に北方領土交渉の状況に関し、野田総理としてどのような認識を有しているか。

五 野田総理として、本年度の「行進」に、ロシアとの交渉を直接担当する外務省職員を参加させるよう、

玄葉光一郎外務大臣はじめ外務省政務三役に指示を出す、または玄葉大臣はじめ同省政務三役を参加させる等、積極的な関与をさせる考えはあるか。

六 本年十一月二十一日、野田総理は高橋はるみ北海道知事ら北方領土返還運動関係者と面会した際、北方領土視察への意欲を示したと報じられている。日本国総理として、我が国固有の領土である北方領土を視察することは大いに意義があると考えるが、その前段として野田総理自身が「行進」に参加すれば、北方領土問題解決に向けた大きな世論喚起になり得ると考える。野田総理として、「行進」に参加をする、または全過程でなくとも冒頭顔を出す等、野田総理自身が直接関与をする考えはあるか。

右質問する。